

2016年4月25日

日本物流学会 会員各位

第33回全国大会実行委員会
委員長 千葉博正(札幌大学)

第33回日本物流学会全国大会のご案内

拝啓 会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第33回日本物流学会全国大会を8月31日(水)から9月2日(金)に「涼しく・爽やかな季節の札幌」で開催いたします(別紙1)。本年の統一論題は「**地方創生と地域物流～物流から地方創生を考える**」(別紙2)とし、自由論題とあわせて多数の報告者を募集致します。大会参加費(予稿集代を含む)、懇親会費の振込については以下のとおりとさせていただきます。

敬具

	7月末日までの振込	8月1日以降の振込と当日払い
正会員	4,000円	5,000円
準会員	500円	3,000円
非会員	5,000円	6,000円
懇親会費	4,000円 (準会員は2,000円)	5,000円

同封の振込用紙をご使用の上、7月末日までに下記のゆうちょ銀行口座にご送金ください。その際、通信欄の振込金額の対象(参加費・懇親会費)に該当数をご記入ください。研究報告会でのお弁当予約が必要な場合には、振込用紙所定欄に必要な数をご記入ください(詳細については別紙2)。振込手数料は各自でご負担下さい。

ゆうちょ銀行

口座名称: 第33回日本物流学会全国大会事務局

口座番号: 02720-4-70747

※書類不足あるいはお問い合わせの場合は、

第33回日本物流学会全国大会事務局

jls33@logistics.hokkaido.jp までご連絡ください。

別紙 1

第 33 回日本物流学会全国大会プログラム

第 33 回全国大会実行委員会

委員長 千葉博正(札幌大学)

8 月 31 日(水) 見学会・役員会(理事会)

午後 見学会 於：日本貨物鉄道株式会社 北海道支社様 札幌貨物ターミナル駅
夕刻 役員会(理事会) 於：さっぽろ芸文館

※見学会の参加者募集につきましては、別紙 3 をご覧ください。

9 月 1 日(木) 会員総会・基調講演・シンポジウム

於：さっぽろ芸文館

13 時 00 分～ 受付(学会会員向け)

13 時 30 分～14 時 30 分 会員総会

14 時 00 分～ 受付(非会員向け)

14 時 30 分～15 時 30 分 基調講演

15 時 30 分～17 時 00 分 シンポジウム

18 時 00 分～19 時 30 分 懇親会

9 月 2 日(金) 研究報告会

於：北海商科大学

9 時 00 分～ 受付

9 時 30 分～12 時 00 分 統一論題、自由論題、院生セッション

12 時 00 分～13 時 00 分 昼食

13 時 00 分～16 時 30 分 統一論題、自由論題、院生セッション

※時間は一応の目安で、発表件数などによって変更の可能性があります。
※研究報告会の会場は統一論題、自由論題、院生セッションに分かれます。
※院生セッションの優秀な研究報告に対しては、後日、表彰が行われます。
※全国大会の最新情報は学会のホームページに掲載されます。

別紙 2

第 33 回日本物流学会 全国大会の会場案内

第 33 回全国大会実行委員会

8月31日～9月1日は「さっぽろ芸文館」、9月2日は「北海商科大学」を中心に開催いたします。いずれも札幌の交通の拠点である「大通駅」からも、観光拠点である「すすきの駅・豊水すすきの駅」からも1駅～2駅の範囲に位置します。

8月31日(水) 見学会

日本貨物鉄道株式会社 札幌貨物ターミナル駅(別紙3)

8月31日(水) 役員会(理事会)

9月1日(木) 会員総会・基調講演・シンポジウム

会場：さっぽろ芸文館 (<http://www.sapporo-geibun.jp/index.html>)



札幌市中央区
北1条西12丁目
011-231-9551

地下鉄：
東西線「西11丁目駅」
から徒歩5分

9月2日(金) 研究報告会

会場：北海商科大学 (<http://www.hokkai.ac.jp/>)



札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

TEL (011) 841-1161 地下鉄：「学園前」駅出入口
4番直結

大学近隣には飲食店がほとんどございません。
お弁当を1000円で予約販売いたします。ご要望の方は振込み用紙の「お弁当予約」欄に、必要数をご記入ください。

別紙 3

札幌貨物ターミナル駅見学会のお知らせ

第 33 回全国大会実行委員会

平成 28 年 3 月 26 日新青森～新函館北斗間の北海道新幹線開業に伴い、全国で初となる一部区間での新幹線と貨物列車の共用走行がスタート致します。

開業半年を迎えるにあたり、JR 貨物様より、改めて本州～北海道間の物流の一翼を担う鉄道貨物輸送の位置付け及び開業前後での物流量及びステークホルダーの変化の動向を報告いただき、今後の地域間物流を考える上でのヒントをご提案いただきます。

また、駅見学を通じ鉄道貨物輸送のスキームを学び、新幹線と貨物列車の共用走行における安全への取組みを紹介いただきます。なお、詳細は下記の通りです。

日程:平成 28 年 8 月 31 日(水) 13:00(JR 札幌駅集合)～17:30(札幌市内帰着)

集合場所・時間:JR 札幌駅北口「鐘の広場」に 13 時集合

申し込み方法・募集人数:

下記内容をご記入の上、平成 28 年 5 月 31 日までに、メールにて大会実行委員会までお申し込みください。

- ① ご芳名、 ②ご所属および住所、 ③当日連絡がとれる電話番号

なお、募集人数は 30 名とし、全国大会に参加される学会会員限定とさせていただきます。人数が超過した場合には、申し込み順に基づき実行委員会が判断し、参加をお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

(申し込み先) 第 33 回日本物流学会全国大会事務局
jls33@logistics.hokkaido.jp

統一論題 地方創生と地域物流 ～物流から地方創生を考える

第 33 回全国大会実行委員会
委員長 千葉博正(札幌大学)

今日各地において地方創生の名のもとに様々な地域振興策が展開されている。その多くは、地方の物産や観光資源を活用し、流通振興や観光交流を図ろうとするものであるが、一方において流通や交流を支える人材やインフラ整備など、単一の自治体では解決の難しい課題に直面している例も少なくない。特に物流上の課題は地方創生を進める上での大きな課題であると言われており、大都市圏よりも地方において物流上の課題が顕著に表れていると言える。

これまでも物流上の課題として指摘されてきたトラック・ドライバーの不足は、少子高齢化や過疎化による社会的要因によるものと言えるが、近年においては高速道路の整備が進んだことによって、遠隔地から大都市圏への輸送距離が延び、ドライバーの拘束時間が増大するなど交通環境の変化もドライバー減少に拍車をかける一要因となっている。人材難に限らず地方都市の産業構造も課題の解決を難しくしている一因といえる。多くの地方都市において産業の中心は一次産業であり、特に農村地域においては収穫時期に輸送量が増大し季節変動が生ずることとなる。このことは所謂片荷となって、輸送効率を著しく低下させる要因となっている。

さらに近年各地においては地場の産物を海外に展開しようとする動きも少なくない。特にアジア圏においては日本食の普及もあって日本産の食料品が歓迎されており、大きな市場となることが予想されている。しかしながら地方から海外市場へ輸送する場合には、輸送ルート上の問題やロットサイズ・温度帯の問題など多くの課題を解決することが必要である。

特にこのような地域における物流上の課題が典型的に表れているのが、北海道であると言える。今年は北海道に新幹線が開通し交通環境が大きく変化することとなった。旅客輸送にとっては革新的な変化（光）がもたらされることになったが、一方においてこのことは青函トンネル内を走行する貨物列車の走行制限（影）を伴うこととなり、北海道の産業経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されている。

地方の物流改善のためには様々な視点が必要であるが、何よりも社会的視点が不可欠であると言える。地方の物流主体は複数の産業セクターによって構成されており、必ずしも立場は一様ではない。また物流改善の目的は特定の企業の利益向上ではなく地域社会全体の経済効果である。このような地方の物流（地域物流）は所謂ソーシャル・ロジスティクスとしての性格を有するものであり、アプローチの方法も社会的公平性が求められることとなる。このたびの札幌大会においては、各地において個別的に解決が模索されている課題を上記の視点から横断的に分析・検討し、地域物流の今後の方向性を見出すことを意図している。

別紙5

2016年4月25日

日本物流学会 会員各位

第33回全国大会実行委員会
委員長 千葉博正(札幌大学)

第33回日本物流学会全国大会での報告者募集のご案内

会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年の全国大会は8月31日(水)から9月2日(金)の日程(別紙1)で、「涼しく・爽やかな季節の札幌」で開催いたします。本年の統一論題は「地方創生と地域物流～物流から地方創生を考える」としました。自由論題と合わせて多数の報告者を募集いたします。

つきましては、「第33回(2016年度)全国大会研究報告申込用紙」の各項目をすべてご記入のうえ、電子メールにて全国大会実行委員会まで、ご送信いただきますようお願い申し上げます。なお、**報告申込最終期限は平成28年6月10日(金)**です。

応募方法は、学会のwebページ(<http://www.logistics-society.jp/>)からもご参照いただけます。

【送付先】

第33回日本物流学会全国大会実行委員会事務局

電子メール: jls33@logistics.hokkaido.jp

※全国大会では、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられています。期日までの原稿提出と、大会発表当日の日程が確保されることをご確認のうえ、応募してください。なお、発表は1人1本を原則とします。詳細は、全国大会の発表に関する規定(<http://www.logistics-society.jp/haltupyokitei.pdf>)をご覧ください。

※報告者に対する受領通知や研究報告集原稿作成の願いは、電子メールを用いてご連絡させていただきます。**研究報告集原稿の提出はpdf形式(ファイルサイズ3MBまで)に限らせていただきます。**

※各種の問い合わせ等は電子メールでお願いいたします。電話での対応はできませんので、ご了承ください。

別紙 6

第 33 回 (2016 年度) 全国大会研究報告申込用紙

発表者	ご芳名			
	ご所属			
	会員種別	正会員	準会員	賛助会員
連絡先	電子メール：			
応募種別	統一論題	自由論題	院生セッション	
	(該当項目を丸で囲んで下さい。)			
自由論題の内容	サプライチェーンマネジメント	海外事例	環境・リサイクル	港湾物流
	物流教育研究	ロジスティクス	地域物流	物流効率化
	物流コスト	その他 ()		
	(該当項目を丸で囲んで下さい。なお、内容が該当しない場合は、キーワードをその他にご記入頂ければ幸いです。)			
論文題目				
著者氏名				
研究報告の概要 (150～200 字程度、英文概要の場合は 100 語程度)				
後日ご提出いただく「研究報告集原稿」は pdf 形式(ファイルサイズ 3MB まで)でご用意いただきます。				

※本用紙は、学会の web ページ (<http://www.logistics-society.jp/>) からダウンロードできます。